

平成26年度 高冷地水稻生育速報(第6報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(8月14日現在)

品種名	年度	出穂期	(平年との差)	現在の状況
コシヒカリ	本年	8月7日	(1日早い)	穂揃い～傾穂始め
	前年	8月8日		
	平年	8月8日		
ひとめぼれ	本年	8月2日	(3日早い)	乳熟期
	前年	8月2日		
	平年	8月5日		
たかやまもち	本年	7月25日	(4日早い)	黄熟始め
	前年	7月27日		
	平年	7月29日		
ひだほまれ	本年	8月2日	(1日早い)	糊熟期～乳熟期
	前年	7月30日		
	平年	8月3日		

栽培条件: 移植5月15日 栽植密度18.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
 ただし、H25年度以前の栽植密度は 22.2株/m²
 平年値: 過去5年間(H25年～H21年)の平均値

1) 気象概況

気温は、7月第6半旬まで曇雨天が続き、気温がやや低く、日照時間が短い傾向となった。7月末から8月になり気象条件は回復したと思われたが、停滞する前線や台風11号の影響により天気は曇雨天に戻り低温傾向となった。なお台風11号は8月9日から10日にかけて四国から近畿地方を縦断した。

2) 生育状況

「ひとめぼれ」「コシヒカリ」まで出穂が確認された。
 出穂期は、「ひとめぼれ」で平年より3日早い8月2日、「コシヒカリ」で平年より1日早い8月7日であった。
 今年度の生育は、草丈・茎数ともに平年よりも「短い・少ない」という傾向であった。しかし、目標茎数(穂数)は概ね確保できていると思われる。

3) 病害虫等の発生状況

紋枯病の被害がやや広がってきている。
 場内においては、斑点米カメムシ類はあまり見られない。

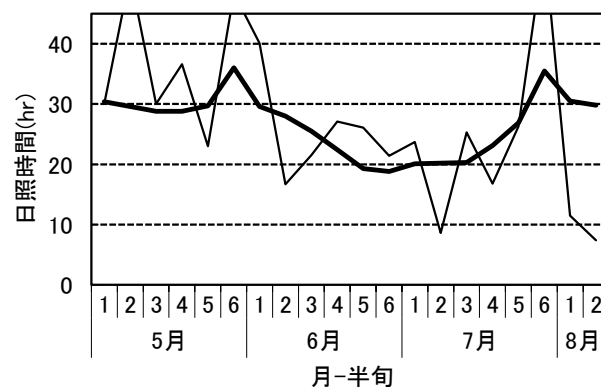
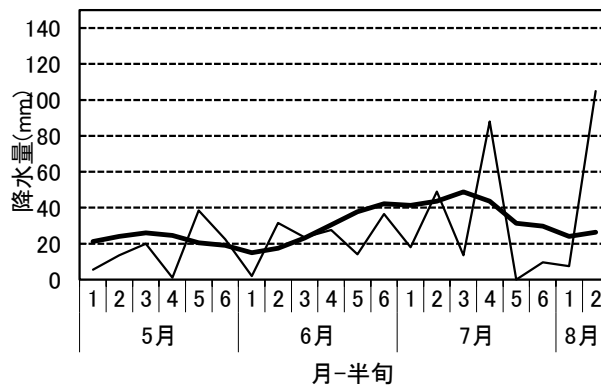
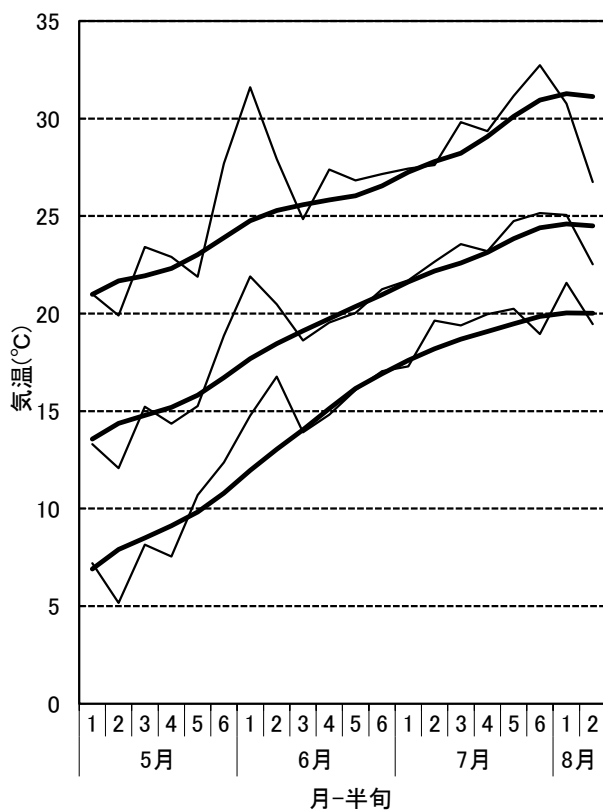
4) 今後の管理

斑点米カメムシ類の適期防除に努める。使用する剤型により適期が異なるので留意し、適期を逃さないようにする。

<参考> 前回調査時(7月31日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齢
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	93.6 (103%)	454 (90%)	3.6 (-1.2)	33.8 (-1.6)	13.9 (+1.3)
	前年	90.6	503	4.8	35.4	12.6
	平年	-	-	-	-	-
ひとめぼれ	本年	87.9 (101%)	488 (93%)	4.0 (-1.0)	37.1 (-2.1)	13.6 (+1.1)
	前年	87.1	527	5.0	39.2	12.5
	平年	-	-	-	-	-
たかやまもち	本年	-	-	-	-	-
	前年	-	-	-	-	-
	平年	-	-	-	-	-
ひだほまれ	本年	-	-	-	-	-
	前年	-	-	-	-	-
	平年	-	-	-	-	-

<参考> 半旬別気象図(高山市アメダス, 8月10日現在)



— 平年(1981~2010年) — 本年(2014年)

岐阜県中山間農業研究所
 TEL 0577-73-2029
 FAX 0577-73-2751
<http://www.cc.rd.pref.gifu.lg.jp/k-agri/>